

【学校教育目標】「感謝の心をもち、自ら学び、たくましく生きる子供の育成」



学校だより 堂崎つ子

第 25 号

令和 8 年 2 月 10 日

南島原市立堂崎小学校

校長 末吉 優

三寒四温 春の訪れを感じます。

立春(2月4日)とは、春の気配が現れるという意味です。旧暦では、この頃が一年の始まりでした。立春が過ぎても、まだまだ寒い日が続く時期ですが、日差しの強さに春の訪れを感じます。この時期になると三寒四温と言われるように、寒さと温かさを交互に繰り返し、少しずつ春の気配が感じられるようになります。気が付けば、近隣の梅の木の枝には数多くの花が咲いています。健康に気を付けて一年のまとめである3学期を乗り切ってもらいたいものです。

以下、24節季の一部を並べてみました。

立春(りっしゅん)：2月4日(水) - 春の始まり、農耕の準備の日安

雨水(うすい)：2月19日(木) - 雪が雨に変わり、土中の生き物が目覚める頃

啓蟄(けいちつ)：3月5日(木) - 冬ごもりの虫が動き出す時期

春分(しゅんぶん)：3月20日(金) - 昼と夜の長さが等しくなる



3年生かまぼこ工場見学 【1月15日(木)】

先月、工場見学とちくわ作り(しきしま蒲鉾店)の体験活動をさせていただきました。社会科学習で児童の身近にある工場見学をとおして、生産の仕事に興味をもち、生産の工程や働く人の工夫と願いを考えるというねらいのもと行いました。

衛生管理が徹底された工場では、子供たちは、少し緊張気味で説明を受け、ちくわ作りに挑戦したそうです。御協力いただきました保護者の皆さんありがとうございました。



給食集会 1月30日(金) / 全国学校給食週間(1月24日~1月30日)

1月24日~30日は全国学校給食週間でした。学校給食はたくさんの方々の関わりにより行われていること、給食の意義や役割について理解を深めようと、本校では、次のような取り組みを行いました。

- 給食の歴史と学校給食センター紹介」を視聴し、感想交流をする。
- 給食標語の募集
- 感謝の手紙を書く。(給食センター職員の皆さん、パン屋さん、牛乳屋さんへ。)



また、給食集会では、給食食委員会のメンバーが、バランス良く食べることの大切さ(3つの食品群)を劇にして紹介しました。

【黄色群】エネルギーの基になる(穀類・芋類・糖類・油脂類)

【赤色群】血や肉を作る(魚・肉・卵・大豆製品・乳製品・小魚類)

【緑色群】体の調子をよくする(緑黄色野菜・その他の野菜・果物)

この一週間は、長崎県の郷土料理(具雑煮、クジラのごまみそがらめ、自転車飯、血うどん、いりやき)がメニューとして出されました。



ワックスがけ (2月2日・3日)

2月2日(月)各教室・特別教室を、2月3日(火)廊下のワックスがけを行いました。一年に1回行いますので、事前の水拭きもていねいに行いました。3日(火)の下校時には、机・椅子などを廊下に出して教室を空っぽにしていました。ワックスをかけた後の教室や廊下からは、気持ちよさが感じられました。

翌朝は、廊下に出していたものを教室に入れる作業があります。登校した高学年児童が下学年の分も入れていました。率先して働いている子供たちに感心しました。



なわとび集会 2月5日(木)・6日(金)

寒さも和らいだ2月5日(木)に低・高学年、6日(金)に中学年の「なわとび集会」を実施しました。これまで、体育の時間や昼休みなどに取り組んでおり、記録更新や目標達成の児童も多く、粘り強さやチームワークが発揮できました。



縄跳び集会の内容 ①時間跳び、目標タイム(低学年1分、中学年1分30秒、高学年2分)
②チャレンジ跳びとして、かけ足跳び、後ろ跳び、交差跳び、あや跳び、二重跳び
③スペシャル跳び(はやぶさ跳び、交差二重跳び、後ろ二重、三重跳び、サイドクロス)

また、大縄の8の字跳びの記録は、「フィットネスチャレンジながさき」に随時登録しました。楽しみながら運動できたようです。

たてわり遊び (2月4日)

今回は5年生が、晴れの日と雨の日の両方の計画を立てました。幸いに晴れの日でしたので、外遊び中心に遊びを計画しました。

1班(宝さがし) 2班・3班・5班(ドッジボール) 4班(いれどろ) 6班(じんどり)
3学期になって、学級の枠にこだわらず、異学年、そしてより多くの仲間と遊ぶ姿が見られます。



自転車の安全利用について 【御存知でしょうか】

令和5年4月の道路交通法改正 → 自転車乗車用ヘルメットの着用が努力義務

令和7年4月1日 → 16歳以上:携帯電話等を使用しながら運転する等の重大な事故につながるおそれが高い交通違反「交通反則通告制度」の適用

長崎県ではヘルメット着用率13.2%(全国平均21.2%)

時々、ヘルメットを着用していない、あごひもを外している等の姿を見かけます。本校でも自転車を運転する場合、交通事故に遭った際の頭部保護の観点からヘルメット着用としています。将来を担う子供たちのかけがえのない命を交通事故から守るために、御協力をお願いします。



市学力調査の結果が届きました

12月に全校児童に実施した市学力調査の結果が届きました。個人の結果については、個人票を学級部会の時にお渡しします。個人の結果とともに、学年ごとの習熟状況等についてまとめられたものも届いています。子供たちの学習状況を見て、身に付いていない内容については、学年末の指導に活かしていきます。

教師の一番の仕事は学習指導です。「こんな授業は楽しく学べるだろう」「こんな授業をすれば、子供たちは理解するだろう」などと、子供の実態を考えて、教材研究を重ねながら授業をしています。

そして、学力調査のデータは、教師にとっては指導を振り返る指標となります。子供たちがよく理解できている部分、できていない部分はどこなのか。子供の変容が見られると、教師として喜びを感じますし、成果が見えなければ別の手立てを考えないといけません。今後、データを活用して指導に活かします。学校におけるより深まりのある学びと家庭学習の充実を図って参りましょう。特に家庭での学習は、集中して丁寧に取り組めるような声かけをお願いします。



「どのような心で受けとめるか」

私たちは、自分が気に入らない事態に直面したり、思いがけないトラブルに見舞われたりすると、憂鬱な気分になるものです。そうしたときは、「こんなことになったのは他人や環境のせいだ」と考えるほどに不平や不満、イライラが募ってきます。その気持ちを相手にぶつければ、不和や争いの原因になることでしょう。一方、自分の心の中に押し込めたなら、徐々にストレスがたまって、自分自身を苦しめることになるでしょう。

自分の目の前で起こった出来事は、その原因が自分自身にあるかどうかを問わず、「この出来事は、自分にとってどんな意味があるのか」「この経験を、今後にどう生かすことができるのか」と前向きに考えることが得策かと思えます。

私たちの人生は、新しい出来事との出会いとの連続です。大切なことは、その出来事を「どのような心で受けとめるのか」です。日々の生活の中で心に何を思い、何に心を動かし、物事をどのように判断していくのか。そうした心の姿勢こそが、幸せな人生を築く鍵となります。